

# 服部学区まちづくり計画

～ほたと共生のまちづくり～



2015年(平成27年)9月  
服部学区まちづくり推進委員会

## 服部学区の概要

服部地域は、JR福山駅より北西約15キロメートルに位置し、北に蛇円山・南に服部大池、そして初夏には源氏ぼたるの乱舞する一級河川の服部川が流れる自然豊かな面積約24平方キロメートルの里山地区です。

一方、地域の社会資源は、上下水道は整備されたものの無医地区・小売商店の衰退・道路網の未整備など課題山積です。

今から25年前、「服部の自然を守る会」は高齢化・少子化の急激な進展が予測されるなか、残された自然を守り、地域の活性化、激減した服部小学校の児童が故郷「服部」に誇りを持ち、この地に住み続けてくれることを願って「ほたる」をキーワードに自然を生かした・活力あるまちづくりに取り組みたいと、「ほたと共生のまちづくり」をテーマに掲げ、「ほたる祭り」を開催しました。

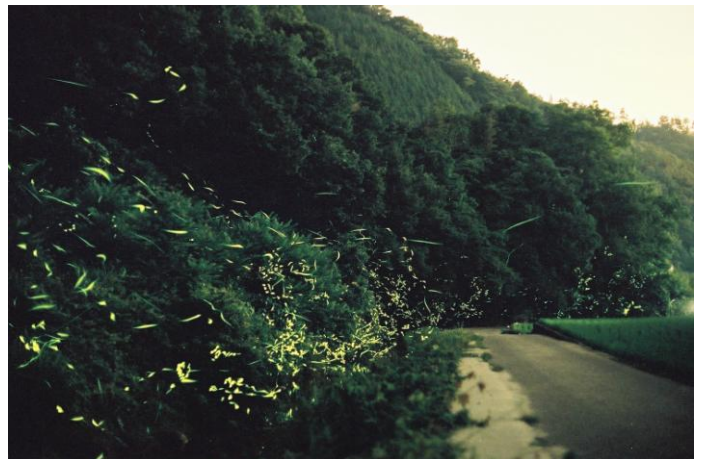
その結果、多くの人々がほたる見物に訪れ、地域は活性化し、上下水道整備等インフラ整備も出来ました。

しかし、肝心の児童数の減少に歯止めはかからず、複式学級が施行され、そして高齢化は益々進み将来を憂う状況が目前となりつつあります。

山積する課題の改善、ただ待っているだけでは何ら状況は変わらないし、変革していくためには、一人ひとりが知恵を出し合い～ないものねだりをやめてあるもの探し～（吉本哲郎「地元学ネットワーク主宰」著書から）・力を結集し、工夫し出来ることから一つずつ改革していくことが今求められていると思います。

## 目次

- ・服部学区の概要・・・1
- ・基本目標 基本施策・・・2
- ・基本目標 基本施策の事業・・・4
- ・構成団体 活動内容・・・5
- ・アンケート調査の結果・・・6
- ・まちづくり応援歌1・・・8
- ・まちづくり応援歌2・・・9
- ・服部ふるさとマップ・避難場所一覧・・・10
- ・まちづくり推進委員構成団体・・・11



# 基本目標・基本施策

アンケート集計



## まちづくりの基本目標

- 1 自然を生かしたまちづくり
- 2 高齢者にやさしいまちづくり
- 3 子育てしやすいまちづくり

## 基本施策

### 1 自然を生かしたまちづくり

- ① 花のまちづくり  
花の通学路事業・「桜堤」づくりに努める。
- ② 綺麗なまちづくり  
「ほたるの里服部」にふさわしい環境づくりに努める。
- ③ ほたるのまちづくり  
服部川清掃・維持整備に努める。
- ④ 古民家・休耕田の活用
- ⑤ 貸農園  
地域外からの利用者の募集に努める。
- ⑥ 服部大池・蛇円山の活用  
シンボルとして工夫・整備活用に努める。
- ⑦ 神社・仏閣の活用  
寺を生かしたまちづくりの工夫。

## 基本施策

### 2 高齢者にやさしいまちづくり

- ① 交流施設事業  
ふれあいサロンの開設に努める。
- ② お出かけ支援事業の充実  
課題整理・推進体制づくりに努める。
- ③ 利便性の向上  
交通手段の確保・道路整備等。
- ④ 買物場所（お店）の検討  
移動（訪問）販売の検討。  
御用聞き（買物代行）等の検討。

## 基本施策

### 3 子育てしやすいまちづくり

- ① 各種行事のあり方の検討
- ② 若者の負担軽減  
役割分担等工夫し負担の軽減に努める。
- ③ 光ファイバーの敷設  
手法の研究・推進組織づくりに努める。
- ④ 若者住宅の研究
- ⑤ 複式学級回避・小学校存続への取組  
「子育てしやすい服部」を工夫し若者の定着・移住に努める。
- ⑥ 子どもが安心して遊べる場所の検討  
服部会館の活用を図り，幼児・児童・高齢者が安心して遊べる場所の確保に努める。

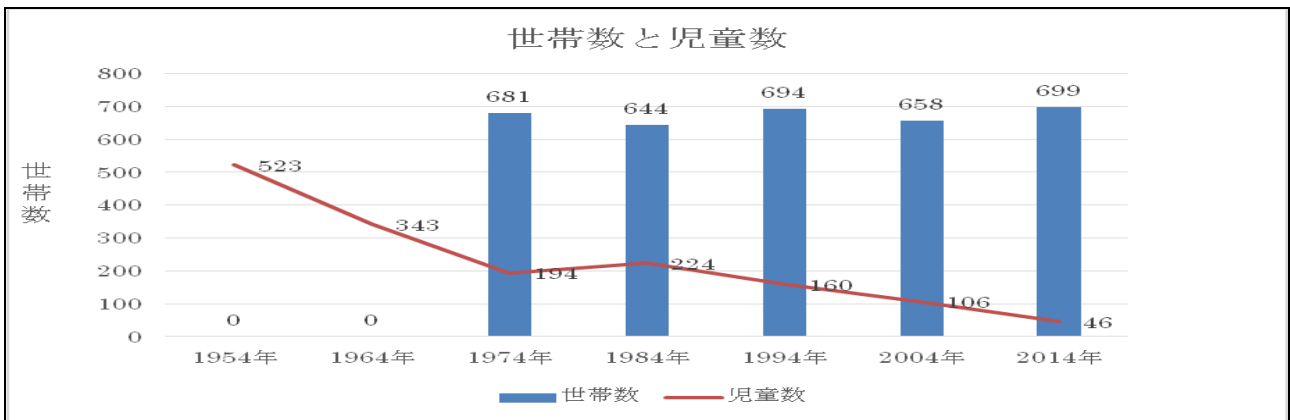


服部学区では、「協働のまちづくり」の、より積極的な推進を目的とし、学区の課題を把握するため、2010年9月、学区の20歳以上の全員（約1600人）を対象に、「学区まちづくり推進委員会」と「服部の自然を守る会」が主体となり「まちづくりアンケート調査」を実施（回収率79.8%）しました。

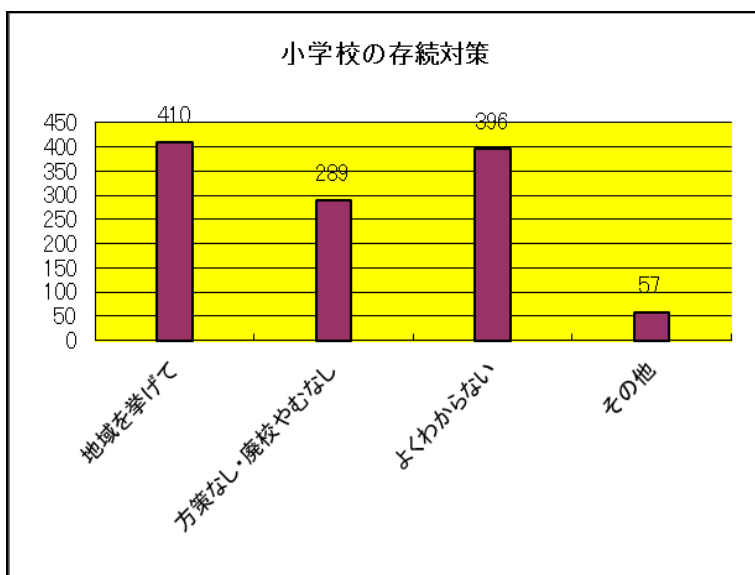
集計結果を分析し、この結果を基に今後のまちづくり計画を策定するため「まちづくり計画策定懇話会（委員26名）」を立ち上げ、KJ法・マンダラートの手法等を活用し、誠心誠意熱心に協議・視察・検討（都合9回開催）を重ね、「住みたい服部まちづくり計画書」を作成し、まちづくりの基本目標を3つ設定しました。

そして、具体的な行動の基本施策の1つに、自然を生かしたまちづくりとして、花のまちづくりなど7項目を目標に掲げ、2つ目に高齢者にやさしいまちづくりとして、交流施設事業など4項目、3として子育てしやすいまちづくりについて6項目を決定致しました。

計画の推進にあたっては、体制の整備を整える事が求められますが、より多くの皆様に計画の内容をご理解頂き、一人でも多くの人に参画頂くことが重要であります。



| 年   | 1954年 | 1964年 | 1974年 | 1984年 | 1994年 | 2004年 | 2014年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 世帯数 | —     | —     | 681   | 644   | 694   | 658   | 699   |
| 児童数 | 523   | 343   | 194   | 224   | 160   | 106   | 46    |



## 基本目標・基本施策の事業

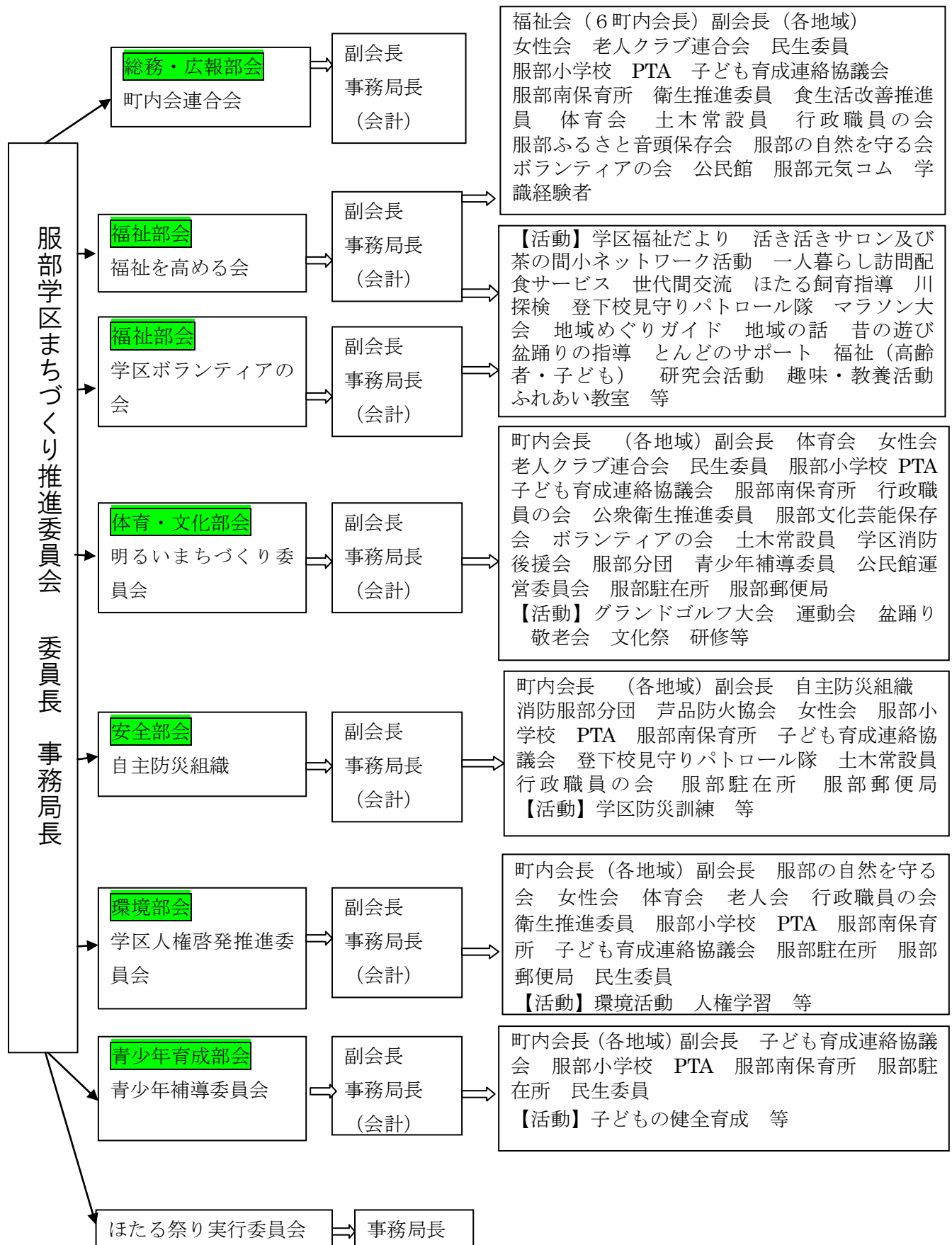
【短期は1年（継続して行う事業を含む）・中期は3年・長期は5年を目安とする】

| No. | 基本目標          | 事業内容               | 達成時期 |    |    |
|-----|---------------|--------------------|------|----|----|
|     |               |                    | 短期   | 中期 | 長期 |
| 1   | 自然を生かしたまちづくり  | ① 花のまちづくり          | ○    |    |    |
|     |               | ② 綺麗なまちづくり         | ○    |    |    |
|     |               | ③ ほたるのまちづくり        | ○    | ○  |    |
|     |               | ④ 古民家・休耕田の活用       | ○    | ○  |    |
|     |               | ⑤ 貸農園              | ○    | ○  | ○  |
|     |               | ⑥ 服部大池・蛇円山の活用      | ○    | ○  | ○  |
|     |               | ⑦ 神社・仏閣の活用         | ○    | ○  | ○  |
| 2   | 高齢者にやさしいまちづくり | ① 交流施設事業           | ○    | ○  | ○  |
|     |               | ② おでかけ支援事業の充実      | ○    |    |    |
|     |               | ③ 利便性の向上           | ○    |    |    |
|     |               | ④ 買物場所の検討          | ○    | ○  | ○  |
| 3   | 子育てしやすいまちづくり  | ① 各種行事のあり方の検討      | ○    | ○  | ○  |
|     |               | ② 若者の負担軽減          | ○    |    |    |
|     |               | ③ 光ファイバーの敷設        | ○    |    |    |
|     |               | ④ 若者住宅の研究          |      | ○  | ○  |
|     |               | ⑤ 複式学級回避・小学校存続への取組 |      | ○  | ○  |
|     |               | ⑥ 子どもが安心して遊べる場所の検討 | ○    | ○  | ○  |

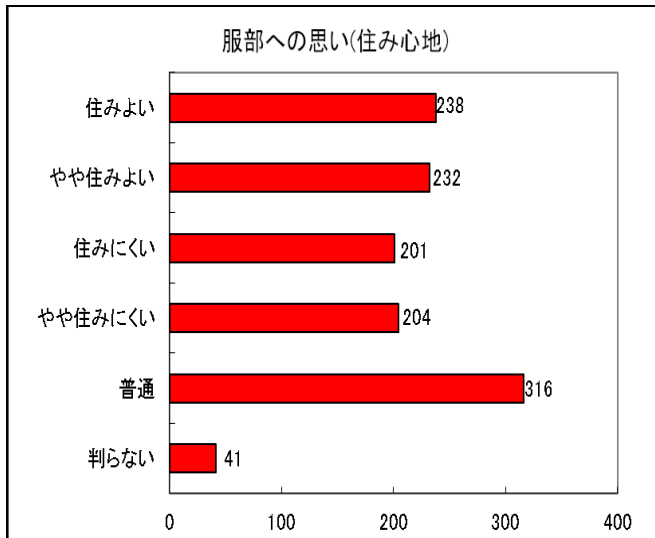
## 継続事業 【短期は継続していく事業を含む】

| No. | 事業内容        | 達成時期 |    |    |
|-----|-------------|------|----|----|
|     |             | 短期   | 中期 | 長期 |
| 1   | 世代間交流事業     | ○    |    |    |
| 2   | 料理教室        | ○    |    |    |
| 3   | 防災訓練        | ○    |    |    |
| 4   | 健康づくり       | ○    |    |    |
| 5   | 運動会         | ○    |    |    |
| 6   | 学習会         | ○    |    |    |
| 7   | 文化保存事業      | ○    |    |    |
| 8   | ほたる祭り       | ○    |    |    |
| 9   | 盆踊り         | ○    |    |    |
| 10  | 文化祭         | ○    |    |    |
| 11  | 駅家まちづくり献血事業 | ○    |    |    |
| 12  | 環境づくり       | ○    |    |    |
| 13  | ボランティア活動    | ○    |    |    |
| 14  | 福祉活動事業      | ○    |    |    |

# 推進メンバー構成団体・活動内容

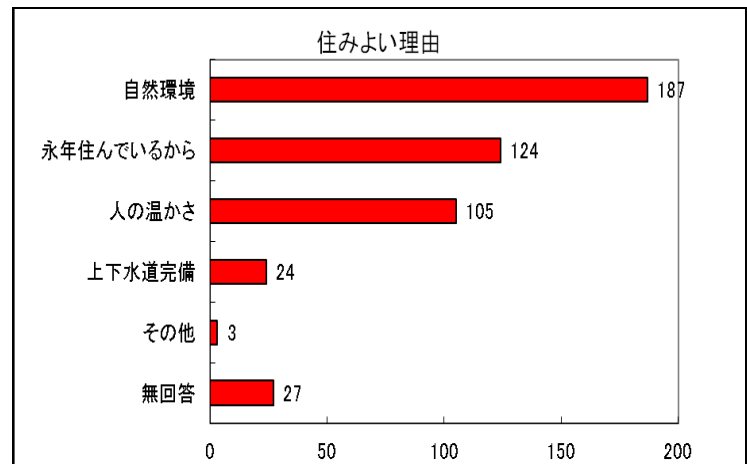


## アンケート調査の結果

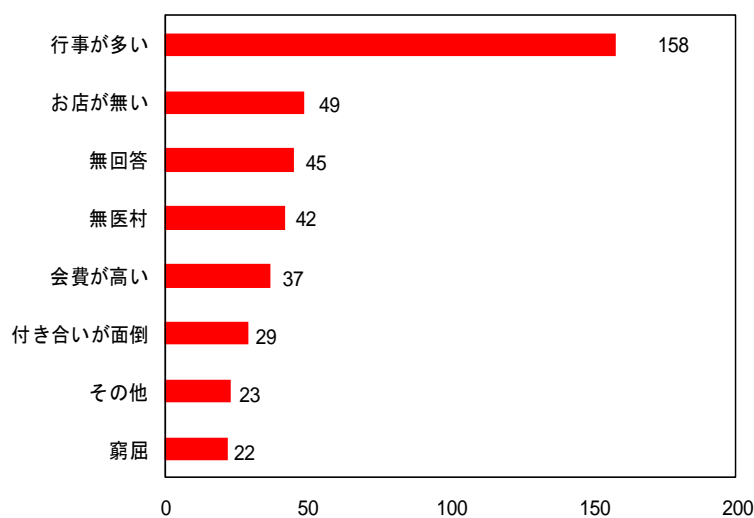


住み心地については、第1位が「普通」と思われている人で316人、次に「住みよい」「やや住みよい」が470人とつづき、「普通」と回答の人は、「永年住んでいるから」が50歳代以上に多く見られる。そして、「やや住みにくい」「住みにくい」と405人が回答されているが、これらの多くは、下表にある行事が多い・お店が無い・付き合いが面倒だからなどのまちづくり対策の課題などに起因するものが多く見られ、それぞれの団体で行事の各年開催・合同開催など見直し精査することも視野に検討の必要があると思われる。

住みよい理由の第1位は「自然環境がよいから」が187人(39.8%)、次いで「永年住んでいるから」や、「人の温かさが良いから」がつづき、1993年調査時には無かった「上下水道の完備」が24人(5.1%)あり、ライフラインの整備が住みよい要因の一つに加わったことは大きな前進である。

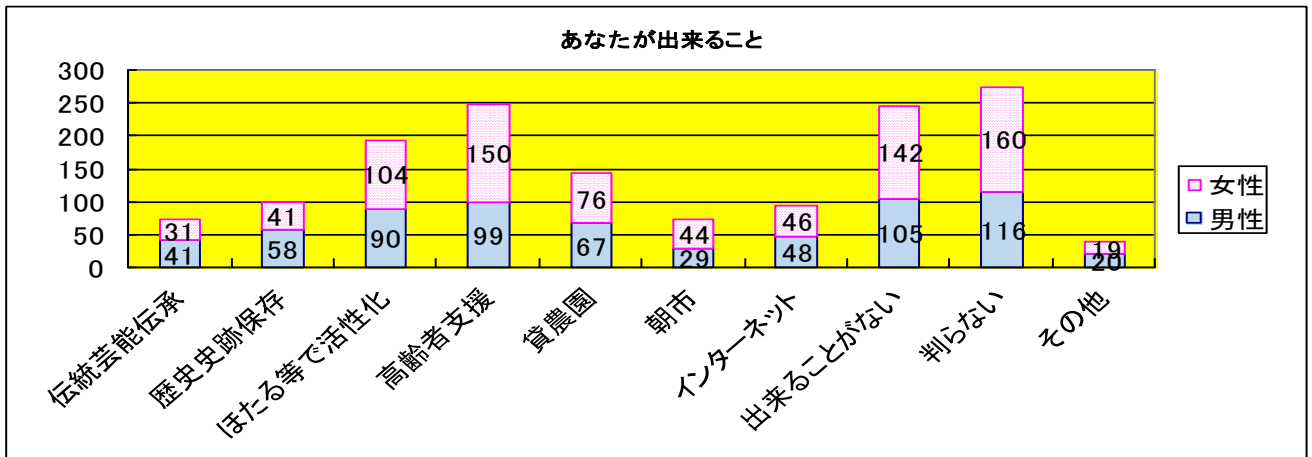


## 住みにくい理由



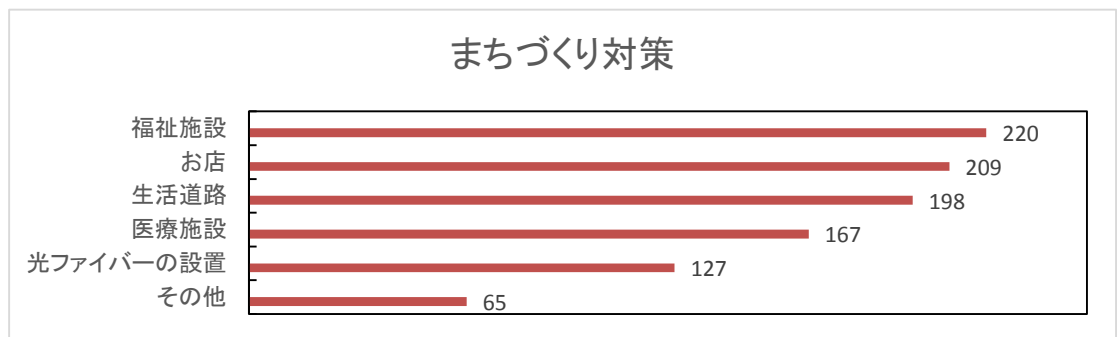
行事が多い、お店が無い・無医村・会費が高い・付き合いが面倒・窮屈とつづき、無医村は別格として、地域のお祭りなど行事の多さに比例し出費を伴うのも当然のことで、付き合いが面倒・窮屈とを感じる想いも、お金や人との交わりに関係し発生する事象である。

それぞれが負担と感じている行事等の整理・統合・縮小などの検討により解消が期待されると思われるため、それぞれの地域行事の見直し等に努める。



地域をよりよくする為に、「あなたが出来ることは何ですか」については、249人の人が「高齢者支援」と回答され、中でも60%を超える女性から回答いただき、65歳以上の人口が35%を超える超高齢化の中で、「何かお手伝いできる事があれば手助けをしたい」と考えている人がこんなにも沢山おられることは、温かい服部の人情の現れではないかと思われる。

次に、「ほたる等で活性化」「貸農園」とつづき、ほたるの飛び交う自然は守りたい、そんななか、耕作放棄地はどんどん増え、土地はあっても農業を続ける人手がない、農作業をしたい人はいるがしたい人には土地がない、そんな橋渡しが上手く出来れば一石二鳥も三鳥も叶うと思われる。そして、「出来ることがない」「判らない」と回答をされた523人も、いまは何をして良いか具体が見えないため、「出来ることがない」と回答された人も、支援体制を整えそれぞれの事業を具体化し見えるものにしていけば、今回「判らない」と回答いただいた多くの方も、お力を貸していただけ「出来ること」に移行していただけるものと思うし、そのようになって頂けるよう考えていく必要がある。



今後のまちづくり対策では、「福祉施設の充実強化」が220人と最も多く、次いで「買物の出来るお店」、「生活道路の整備」「医療施設の充実」など年齢が高くなるにつれ多くみられる。高齢化率は35%を超え、道路整備等も望まれるところであるが、高齢化に伴い福祉・医療に対する不安がこのような高い数字として現れたものと考えられる。地域に福祉施設や医療施設の誘致を進めることは、過去の診療所撤退の経過からしても困難と考えられ、通院や生活物資の調達等にかかる交通支援の検討などがより現実的と考えられ、今後更に検討を要する課題である。

また、光ファイバー敷設の要望127人は特に若い人に多くみられ、IT社会に生きる若者の素朴な意見として、関係方面への強い働きかけが今後求められる。実現出来ればそれらを有効活用し、地域のまつりやイベント情報などインターネットを活用したフェイスブック等 SNS の開設で、市内外の在住者や田舎暮らしを希望する都会の人との交流や、Uターン・Iターンのきっかけづくりが出来、活力のある地域に再生できると思われる。人・物・金、解決には程遠い課題に感じられるが、少しでも可能な方法や手がかりを見出し、一步一步改善していく努力をする事が今後強く求められている。



## ほたと共生のまちづくり 服部

# まちづくり応援歌 1

## 「ホタルの里服部」



服部びっかりちゃん

作詞 熊谷本郷

作曲 松山祐士

歌 服部小学校児童

演奏・指導 井上美保子・石口和美

企画制作 服部学区まちづくり推進委員会 2014年1月

樋上総司 大元洋治 大元光代 倉田繁政 森本訓充 江種吉夫



福山市キーワードモデル事業

- 1 服部川の 川边には  
夏しか会えない 風がある  
こい こい こい こい 会いに来い (繰返し)  
ホタルが夜空で歌ってる  
命の灯りに 音符を付けて  
こい こい こい こい 歌いに来い (繰返し)  
一緒に歌おう いのちの歌を  
一緒に歌おう ふるさとの歌  
こい こい こい こい みんな来い (繰返し)



- 2 蛇円の山の 裾野には  
夏しか会えない 風がある  
こい こい こい こい 会いに来い (繰返し)  
ホタルが夜空で踊ってる  
命の灯りに 祈りを込めて  
こい こい こい こい 踊りに来い (繰返し)  
一緒に踊ろう いのちの歌を  
一緒に踊ろう ふるさとの歌  
こい こい こい こい みんな来い (繰返し)



## ほたと共生のまちづくり服部

# まちづくり応援歌 2

「はつとりがわにホタルがピカピカリ」

「かかしさん」 他

作詞 はつとりみなみほいくしよのみんな

作曲・演奏 穂垣恵子

歌 服部南保育所



服部びっかりちゃん

「はつとりがわにホタルがピカピカリ」

- 1 ほ ほ ホタル げんじに へいけに ひめほたる  
はつとりのかわを とんでいる  
ほ ほ ホタル あかちゃんはつちのなか  
はつとりのかわをずっと とびたいな  
でもね でもね ホタルのいのちは みじかいよ  
いっしゅうかんしかいきられない みじかいいのち  
ほ ほ ホタル ピカピカピカピカ とんでいる  
おとなも こどもも あかちゃんも ピカピカリ
- 2 ほ ほ ホタル きれいなかわに すんでいる  
ごみをすてたら びょうきになるよ  
ほ ほ ホタル きれいなかわで いきている  
かわがきたなくなると しんじょうよ  
(以下繰返し)  
そうよ そうよ ホタルのいのちは みじかいよ  
いっしゅうかんしかいきられない みじかいいのち  
ほ ほ ホタル みんなでホタルのすむかわを  
きれいにピカピカすると ころもひかる

「かかしさん」

- 1 かかしさん かかしさん  
ほいくしよ のうえんで  
いちごをまもってる  
まもってる  
からすがきて  
たべられないように
- 2 かかしさん かかしさん  
おねがい あるよ  
いちごがたべたいな  
たべたいな  
おおきくなるように  
よろしくね
- 3 かかしさん かかしさん  
おしらせ あるよ  
いちごがいっぱいだ  
いっぱいだ  
おれいにジャムを  
ごちそうするよ
- 4 かかしさん かかしさん  
うれしいな  
いちごをありがとう  
ありがとう  
まもってくれて  
ありがとう
- 5 かかしさん かかしさん  
おつかれさまでした  
いちごとなかよしだ  
なかよしだ  
らいねんも また  
きっと きてね



## まちづくり推進委員 構成団体

|                 |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|
| 服部学区町内会連合会      | 服部学区土木常設委員会    | 服部学区子ども育成連絡協議会 |
| 服部学区ボランティアの会    | 服部学区公衆衛生推進委員会  | 服部南保育所         |
| 服部ふるさと音頭保存会     | 民生委員会          | 服部学区行政職員の会     |
| 服部学区福祉を高める会     | 消防後援会・防火協会服部支部 | 福山北署防犯協会       |
| 服部学区老人クラブ連合会    | 自主防災組織         | 青少年補導委員        |
| 服部学区女性会         | 服部公民館          | 福山市消防団服部分団     |
| 服部学区体育会         | 服部小学校          | 公民館運営委員会       |
| 服部学区人権啓発推進協議会   | 服部小学校PTA       | 服部の自然を守る会      |
| 明るいまちづくり服部学区委員会 |                |                |





### ほたるの里づくり 8カ条

- 1 川にゴミや汚物を捨てないようにしましょう。
- 2 「流し」には目の細かい網などをつけて食品カスなどを流さないようにしましょう。
- 3 食用廃油を流さないようにしましょう。
- 4 排水ます、沈殿槽をもうけましょう。
- 5 洗剤は適量を使用しましょう。
- 6 し尿浄化槽は正しく管理しましょう。
- 7 合併浄化槽を設置しましょう。
- 8 川でゴミを焼かないようにしましょう。



制作 服部学区まちづくり推進委員会